

活動報告

団体名	NPO 法人傾聴ネットキーステーション
活動名	熊本地震の被災者のための生きる力を支える傾聴活動
活動期間	2017年3月～2017年9月
活動の成果	<p>熊本市南区城南町塚原仮設住宅では、戸別訪問が定着し多くの被災者宅を訪問しお話を聴くことが出来るようになりました。社会福祉協議会の担当相談員や自治会の役員の方々とも信頼関係が出来、9月24日には、宮城県仙台傾聴の会の皆さんが支援活動に参加された際もご協力いただきました。被災者の皆さんも同じ被災した者同士ということもあり、茶話会には多くの入居者の参加があり、たくさん話しをされました。最後は記念撮影をし宮城県仙台傾聴の会の皆さんも思い出に残る出会いになったと、震災を通じて新しい絆が出来たことに感慨深げでした。</p> <p>御船では、支援団体が御船以外からということもあり、初めのころは連携がうまくいかないことが多かったのですが、いまでは、継続して活動してきた団体に対する信頼関係もできてきたことや、支援会議を中心とした連携、協力関係の体制が定着してきたこともあり、被災者の声をより反映できるような支援にとそれぞれが役割をもって活動できるようになりました。</p> <p>大津町、南阿蘇支援も地域内にいる会員の訪問や茶話会での傾聴活動が定着してきました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今回のボラサポ・九州による被災者の心に寄り添う傾聴活動によって、被災者の今後の自立への不安な気持ちは、一歩前に向かう気持ちへと変化しつつあります。しかしながら、多くの被災者が本来の生活に戻るまでには、それぞれが乗り越えていかなければならない課題がまだまだあることも事実です。</p> <p>今後も、地道ではありますが傾聴を通し、被災者の心にどこまでも寄り添い見守ることが、被災者の生きる力を支えていくものだと確信しています。今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>

(活動のようす)

